

国土交通省総合政策局
情報政策課交通経済統計調査室
平成28年3月4日(金)公表

トラック輸送情報

平成27年12月分

平成28年1月分は平成28年4月上旬公表予定

*問い合わせ先

国土交通省総合政策局情報政策課交通経済統計調査室

電話 03-5253-8111 F A X 03-5253-1567

担当 廣中、桑原 内線 28-723

この調査報告の概要は、国土交通省ホームページでもご覧いただけます。

<http://www.mlit.go.jp/k-toukei/index.html>

トラック輸送情報（平成27年12月分）

平成28年3月4日

総合政策局 情報政策課 交通経済統計調査室

担当：廣中、桑原 内線28723

直通：03-5253-8346

<http://www.mlit.go.jp/k-toukei/index.html>

1. 特別積合せ貨物

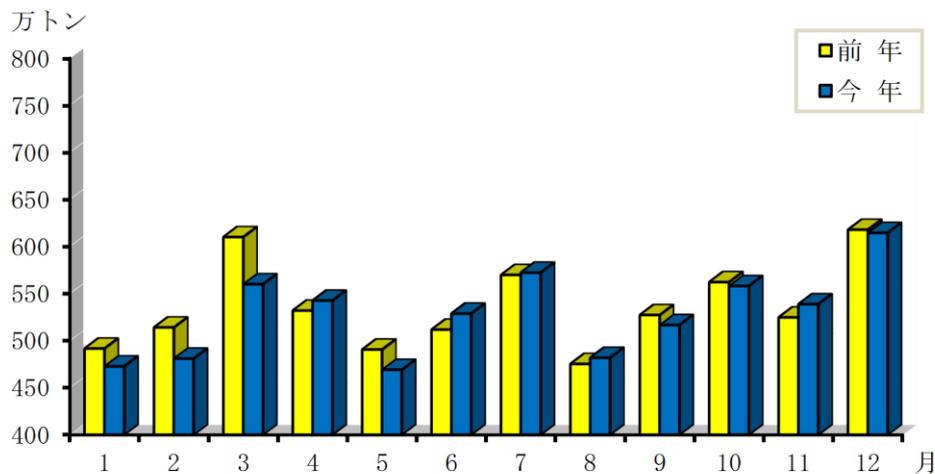
(1) 本月の概況

調査対象24社の本月の輸送量は、6,146,633トンで、前月と比べ総輸送量が約757千トン増加したため、前月比114.0%（季節調整済み97.2%）となり、前年同月との比較では、約34千トン減少したため、前年同月比99.5%の実績であった。

なお、平均稼働日数は23.3日で、前月と比べ0.8日増加し、前年同月との比較では、0.0日減少であった。稼働1日当たりの輸送量は、263,804トンで、前月と比べ約24千トン増加したため、前月比110.1%となり、前年同月との比較では、約1千トン減少したため、前年同月比99.5%の実績であった。

（図1-1、図1-2参照）

（図1-1）輸送トン数の推移



（図1-2）輸送トン数の前年同月比

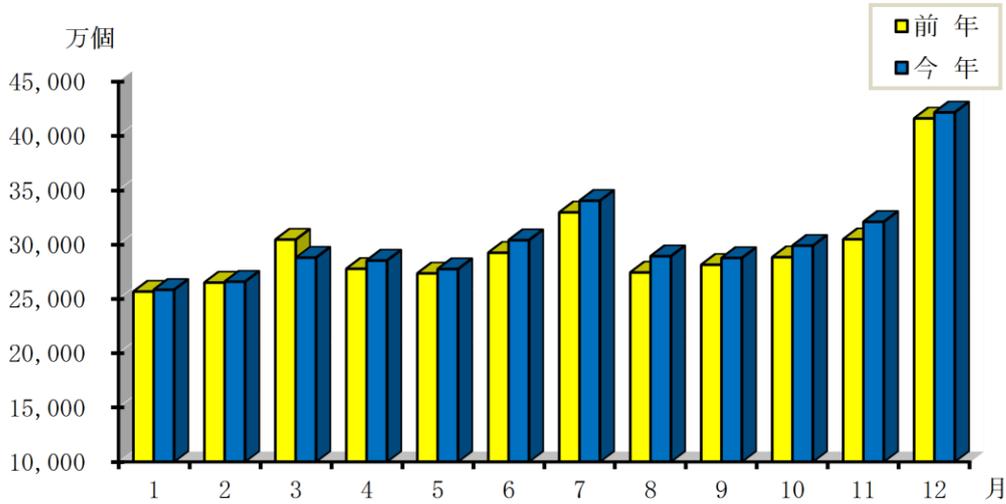


(2) 宅配便の概況

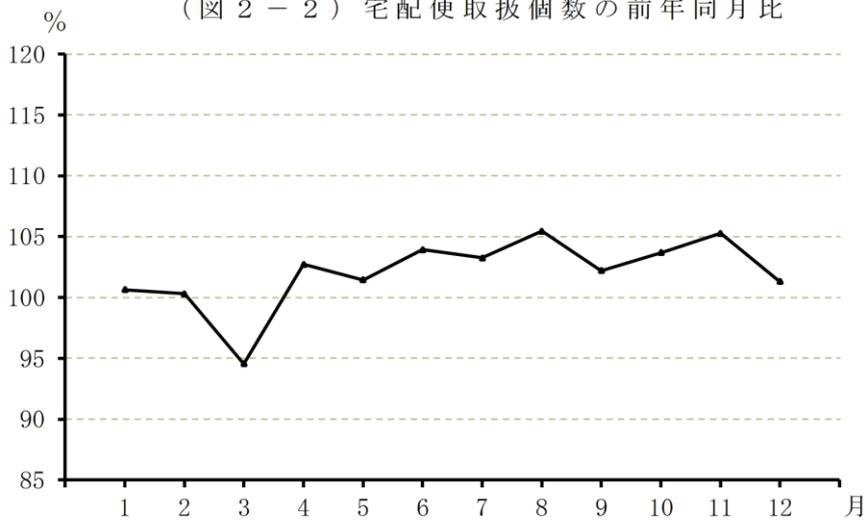
調査対象 14 社の本月の宅配便貨物の取り扱い個数は、約 421,454 千個で、前月と比べ 約 100,582 千個増加したため、前月比 131.3% (季節調整済み 98.2%) となり、前年同月との比較では、約 5,516 千個増加したため、前年同月比 101.3%の実績であった。

(図 2-1、図 2-2 参照)

(図 2-1) 宅配便取扱個数の推移



(図 2-2) 宅配便取扱個数の前年同月比



(3) 品目別及び地域別輸送状況 (表 1 参照)

調査対象 25 社 (24 社及び品目別・地域別輸送状況回答 1 社) は、前月と比べると、「化学工業品」、「食料工業品」及び「日用品」で輸送量が増加したと回答する事業者が多かった。その増加要因としては、工場・生産地からの貨物増であった。また、季節的需要増が「その他 (百貨店配送品)」で見られた。主な増加地域は、関東地方から中国の範囲であった。

前年同月と比べると、「機械」、「食料工業品」で輸送量が増加したと回答する事業者があった。一方、「金属製品」、「化学工業品」、「繊維工業品」及び「日用品」で輸送量が減少したと回答する事業者があった。

(表1) 品目別増減状況 (回答事業者数 25社)

品目	増減事業者数					主な増減品目 (上段が増加・下段が減少)	主な増減地域	※ 増減要因
	著 増	増	変 ら ず	減	著 減			
前 月 に 比 べ て	農水産品	2	1	11	2	2		
	金属製品		3	14	4			
	機 械		3	13	4			
	化学工業品		7	12	3		神奈川、関東	4, 7
	繊維工業品		3	15	4			
	食料工業品	2	5	12	1	その他の食料工業品	東京、関東、近畿、中国	4, 7
	日 用 品	1	5	15	1			4
	そ の 他	3	4	11	3	その他(百貨店配送品)		8
前 年 同 月 に 比 べ て	農水産品	1	3	11	2	1		4
	金属製品		1	17	3			
	機 械	2	2	13	3			
	化学工業品		2	15	5			
	繊維工業品		1	17	4			4
	食料工業品	1	4	12	3	その他の食料工業品	関東、近畿	
	日 用 品		1	16	5			
	そ の 他	1	5	11	4			

(注) 「主な増減地域」については、16地域[全国、6大都府県(東京、神奈川、愛知、大阪、兵庫、福岡)及び地方運輸局(6大都府県を含む場合はそれらを除く府県、九州は沖縄を含む)]単位である。
なお、地方運輸局に6大都府県を含む場合は「～地方」と表記した。

※ 増 減 要 因	1. 新規荷主獲得(荷主契約解除)	6. 倉庫へ入る貨物増(減)
	2. デパート、スーパーの貨物増(減)	7. 倉庫から出る貨物増(減)
	3. 他機関から貨物が来た(へ流れた)	8. 季節的需要増(減)
	4. 工場・生産地からの貨物増(減)	9. 景気の好況(不況)
	5. 商社・問屋からの貨物増(減)	10. その他

(表1) 品目別増減状況 (回答事業者数 25社)

2. 一般貨物

(1) 本月の輸送状況

全国の一般貨物トラック事業者(本月の回答事業者820社/調査対象事業者数1,006社)の輸送量は、前月比 100.9%、前年同月比 96.7%であった。

(表2) 地方運輸局別 前月比・前年同月比

	全 国	北海道	東 北	関 東	北 信	陸 越	中 部	近 畿	中 国	四 国	九 州	沖 縄
前年同月比	96.7 %	97.0 %	98.8 %	96.3 %	89.0 %	98.7 %	95.4 %	95.4 %	99.5 %	95.7 %	107.7 %	
前 月 比	100.9 %	99.2 %	102.6 %	100.3 %	95.1 %	98.5 %	101.7 %	104.4 %	103.3 %	102.6 %	112.9 %	

(2) 本月の地方運輸局別管内輸送状況(各運輸局より回答のあったもの)

北海道	<p>本月の輸送については、対前月比99.2%、対前年同月比97.0%であった。品目別では、季節的需要増により「その他の石油製品」、「食料工業品」及び「動植物性飼・肥料」が、工場・生産地からの貨物増により「その他の石油製品」が、倉庫への入出庫増により「動植物性飼・肥料」が、また、「石炭」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。一方、季節的な需要減により「野菜・果物」、「その他の農産品」が、建設関連の需要減により「砂利・砂・石材」、「セメント」が、工場・生産地からの貨物減により「紙・パルプ」、が、また、「その他の窯業品」の輸送量が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しについては、次月及び以降とも減少傾向が予想される。</p>
東北	<p>本月の輸送については、対前月比102.6%、対前年同月比98.8%であった。品目別では、季節的需要増により「揮発油」、「食料工業品」及び「取り合せ品」が、また、「鉄鋼」、「日用品」、「その他の製造工業品」及び「動植物性飼・肥料」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。一方、季節的需要減により「野菜・果物」が、また、「水産品」、「金属鉱」及び「砂利・砂・石材」の輸送量が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しについては、次月及び以降とも減少傾向が予想される。</p>
関東	<p>本月の輸送については、対前月比100.3%、対前年同月比96.3%であった。品目別では、「機械」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しについては、次月は減少傾向、以降はほぼ横ばいが予想される。</p>
北陸信越	<p>本月の輸送については、対前月比95.1%、対前年同月比89.0%であった。品目別では、季節的需要増により「食料工業品」が、また、「金属製品」、「その他の窯業品」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。一方、季節的需要減により「その他の化学工業品」が、また、「穀物」、「木材」の輸送量が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しについては、次月及び以降とも減少傾向が予想される。</p>
中部	<p>本月の輸送については、対前月比98.5%、対前年同月比98.7%であった。今後の輸送見通しについては、次月及び以降とも減少傾向が予想される。</p>
近畿	<p>本月の輸送については、対前月比101.7%、対前年同月比95.4%であった。品目別では、年末に向けた出荷増のため「機械」が、また、「日用品」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しについては、次月及び以降とも減少傾向が予想される。</p>
中国	<p>本月の輸送については、対前月比104.4%、対前年同月比95.4%であった。品目別では、季節的需要増により「その他の石油製品」が、デパート・スーパーからの貨物増により「日用品」が、工場・生産地からの貨物増により「紙・パルプ」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。一方、「砂利・砂・石材」、「その他の化学工業品」の輸送量が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しについては、次月及び以降とも減少傾向が予想される。</p>
四国	<p>本月の輸送については、対前月比103.3%、対前年同月比99.5%であった。品目別では、建設関連の需要増により「砂利・砂・石材」、「鉄鋼」及び「機械」が、工場・生産地からの貨物増により「穀物」、「工業用非金属鉱物」及び「機械」が、季節的需要増により「野菜・果物」、「取り合せ品」が、また、「水産品」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しについては、次月及び以降とも減少傾向が予想される。</p>
九州	<p>本月の輸送については、対前月比102.6%、対前年同月比95.7%であった。品目別では、季節的需要増により「穀物」、「木材」及び「食料工業品」が、建設関連の需要増により「砂利・砂・石材」が、また、「水産品」、「機械」 「その他の石油製品」、「その他の製造工業品」及び「金属くず」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。一方、季節的需要減により「野菜・果物」の輸送量が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しについては、次月及び以降とも減少傾向が予想される。</p>
沖縄	<p>本月の輸送については、対前月比112.9%、対前年同月比107.7%であった。品目別では、季節的需要増により「その他の農産品」が、また、「機械」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。一方、「木材」の輸送量が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しについては、次月は減少傾向、以降はほぼ横ばいが予想される。</p>

(3) 運輸局別、品目別増減状況（対前月比）

回答のあった事業者数を取りまとめた。各欄のうち上段は増加、下段は減少件数である。

運輸局		北	東	関	北	中	近	中	四	九	沖	全
品目		海	北	東	陸	部	畿	国	国	州	縄	国
		道	道	道	信	部	畿	国	国	州	縄	計
1. 穀物	増	1	3						3	3	1	11
	減	1	2		2					1		6
2. 野菜・果物	増			1			1		13	3		18
	減	10	3		1			1	1	5		21
3. その他の農産品	増	1							1		2	4
	減	7										7
4. 畜産品	増									1		1
	減		1									1
5. 水産品	増								2	4		6
	減		2									2
6. 木材	増	1	1					1	1	2		6
	減	2		1	2			1	1		2	9
7. 薪炭	増		1									1
	減											
8. 石炭	増	3										3
	減		1									1
9. 金属鉱物	増							1				1
	減		2									2
10. 砂利・砂・石材	増	2						1	4	4		11
	減	14	4					3	1	2		24
11. 工業用非金属鉱物	増								2			2
	減	1										1
12. 鉄鋼	増		3		1				2	1	1	8
	減	1						1		1		3
13. 非鉄金属	増									1		1
	減							1				1
14. 金属製品	増		1		2			2	1	3	1	10
	減			1		1	1	2	1	3		9
15. 機械	増		1	2	2	2	3		5	4	2	21
	減	1	1		3	1		1	1			8
16. セメント	増				1	1		1	1	3		7
	減	4	1							2		7
17. その他の窯業品	増				2	1			1	1		5
	減	3	1									4

運輸局		品目	北海道	東北	関東	北陸信越	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄	全国計
18.	揮発油	増	1	3		1	1		1	1			8
		減											
19.	その他の石油製品	増	7	1		1			5	1	3		18
		減	2	1						1			4
20.	コークス・ その他の石炭製品	増											
		減		1									1
21.	化学薬品	増	1	1						1			3
		減								1			1
22.	化学肥料	増	1	1		1							3
		減				1				1			2
23.	その他の化学工業品	増	1				1	1			1		4
		減				2		1	3				6
24.	紙・パルプ	増						1	2	2	2	1	8
		減	2	1		1				3	1		8
25.	繊維工業品	増								1			1
		減		1			1						2
26.	食料工業品	増	4	9		4		2	3	3	11		36
		減				2		1	2	2	1		8
27.	日用品	増	1	3		1	1	2	3	1	1	1	14
		減	1								1		2
28.	その他の製造工業品	増		3		1					2		6
		減		1		1		1					3
29.	金属くず	増	1								2	1	4
		減											
30.	その他のくずもの	増											
		減											
31.	動植物性飼・肥料	増	5	2		1					3		11
		減								1	2		3
32.	廃棄物	増	2	1					1	1	1		6
		減	1										1
33.	輸送用容器	増	1										1
		減											
34.	取り合せ品	増	1	3	1					3	1	1	10
		減									1		1
35.	その他	増		2	1	5	2	1	10	3	8	1	33
		減		2	1	1		4	5		2		15